

映画「普通に生きる」上映会と 青葉区の取組み報告会



はじめてばかりの障がいを受け入れながら
苦しみや困難に打ちのめされ
死さえも考えた親たちは
よい苦闘を経て子どもの障がいを受け入れます

やがて人とつながることを得て
親たちは自分たちのニーズにあった
施設や制度をつくってゆきます

地域社会とのかかわりの中で
居場所を得た子どもたちの笑顔が
人を精進原動力となります

生きづらさを持っている人にやさしい社会は
すべての人にやさしい社会です

長編ドキュメンタリー映画 83分
製作 著作 監修: マザーバード

ドキュメンタリー映画

普通に生きる

日常生活のすべてに手助けと医療的ケアを必要とする子をもつ親の多くは、「もし自分になにかあったら、この子はどうなるの?」と大きな不安を抱える。この映画は、重い障がいをもった我が子と地域の中で普通に生きるために親の会を立ち上げ、行政を突き動かし、理想の通所施設「でら〜と」を立ち上げた、静岡県富士市・富士宮市に住む親の取り組みと自立への試みを5年にわたり記録したドキュメンタリーである。



もし、私に何かあったら
この子はどうなるの?!

ナレーター: 長谷川初範
構成・編集: 洪 福貴
制作補: 梨木かおり
撮影・プロデューサー: 貞末麻哉子

これは私的な事実を受け入れ、それを公的な現実にもまで高めた人々の記録だ。見終わったあと、まず私の心に湧いたのは、感謝の念だった。この映画にかかわったすべての人たちへの、そしてへいのち」にひそんでいる限りない力への。

谷川俊太郎



この映画は、人間とは何か、人生とは、生きるとは、幸せとは、地域の方とは、家族とは何か、障害者問題を超えて、もつともつと大事なことを教えてくれる。

浅野史郎

令和3年3月2日 (火) 10:30~13:00

会場: 青葉公会堂ホール (250名定員)

事前申込必要: QRコード申込フォーム、ホームページ (あおば地域活動ホームすてっぴ) または、電話にてお申込下さい。

(電話申し込み先: あおば地域活動ホームすてっぴ045-988-0222)

申込期間: 令和3年2月1日 (月) ~2月19日 (金) まで

申込専用
QRコード



主催: 青葉区地域自立支援協議会

事務局: 青葉区福祉保健センター 高齢・障害支援課/社会福祉法人ル・プリ あおば地域活動ホームすてっぴ

10:30～ドキュメンタリー映画「普通に生きる」上映会

<プロデューサー貞末麻哉子氏メッセージ> *公式サイトより抜粋。

富士・富士宮市で親たちの努力によって作られた重症児の通所施設を五年にわたって追ったこの作品は、重い障がいのある人たちの世界だけをテーマにした映画ではなく、大きな意識変革によって社会を突き動かした、普通の親たちの、優しく、熱く、力強い行動の記録です。親たちや地域が、成果として得たものが何だったのか。それをぜひご自身の目で確かめてください。そして、成熟した社会づくりのために力強く今も闘い続けている、小さな町の大きな動きをぜひ、取材していただきたいのです。



12:00～青葉区の取組報告会

住み慣れた地域で暮らし、働くこと。医療的ケアや重度の身体障がいを持った方たちも同じような暮らしを送ってほしいと、青葉区地域自立支援協議会重心部会で発足したプロジェクトに関する報告を行います。

ご本人の声、ご家族のお話しなどを予定しています。また、この活動にご協力いただける方を求めています。



- このチラシは、上映会を主催する「青葉区地域自立支援協議会」が作成しました。
- 作品・配給に関するお問合せは **マザーバード** TEL&FAX: **03-6913-5591**まで。
- 「普通に生きる～自立をめざして～」公式ホームページ
<http://www.motherbird.net/~ikiru>

青葉公会堂のご案内

<住所>

横浜市青葉区市ケ尾町31番地4

<電車・バス>

・東急田園都市線「市が尾駅」下車 徒歩10分

・青葉区総合庁舎バス停下車すぐ

<青葉公会堂ホームページ>

aoba-kokaido.com

<注意事項>

上映会当日の開場は9:45です。

場内での飲食不可。ロビーで水分補給可。

【感染予防へのお願い】

- ・当日はマスクの着用をお願いします。
- ・当日、発熱のある方、体調不良の方は参加をお控えいただきますようお願いいたします。
- ・来場時の検温、座席配置へのご協力をお願いします。

